

コミュニケーション改革の好影響も

会社の強みを生み出した

ウェブ会議推進し大きなメリット

現在、2人の社員がテレワークで働いています。店舗の薬剤師が出産へ向け仕事の継続に不安を覚えていると聞いたことが、制度導入のきっかけでした。企業にとっては知識や経験を積んだ人財は宝。「社員が安心して働けるように会社も変わらなければ」と踏み切りました。制度導入に合わせ、情報通信技術（ICT）を活用した「ウェブ会議」を推進。本人の業務内容は、テレワークを前提に組み替えました。

働きやすくするために企業が変わる

当初は懐疑的な声もありましたが、やっていくうちに社員にも会社にも大きなメリットが生まれていました。以前は会議や研修で、福岡や長崎など遠方からの社員は移動が負担でしたが、可能な限り勤務地や自宅で参加できるようにしました。加えて、場所や時間を問わないため若手社員の参加機会が増えました。若い社員は、ICTを使うことに抵抗がないため、大きな推進力になりました。1人の働き方改革が社内にコミュニケーション改革をもたらし、それが会社としての強みとなりました。

テレワーク導入のポイントは、「社員が働きやすくなるために企業が変わる」ことに尽きると思います。



テレワークを導入した
代表取締役の溝上泰興さん

隙間の時間を有効に活用

生産性のある仕事生み出したい

もともと妊娠トラブルに悩まされる体質。3人目の子どもを授かり、「このまま仕事を続けて大丈夫だろうか」と悩んでいるときに、会社から「自宅で仕事をしてみてもは」と提案していただきました。本当にありがたかったですね。

福岡市内の漢方専門薬局で働いていた頃は、「勤務時間の中で何ができるか」を考えて仕事をしていました。場所や時間にとらわれないテレワークの働き方はオンとオフのメリハリが難しく、当初は戸惑うことも。しかし、次第に慣れて、家事や子育ての隙間の時間を有効に活用できるよう工夫して働くようになりました。主な仕事は人材育成のための研修の企画・運営のほか、ホームページなどインターネットの対応。生産性のある仕事のカタチを生み出したいと常に心掛けています。

ママ友からもうらやましがられる

テレワークで働くようになり、時間に余裕ができたことで心にも余裕が生まれた気がします。ママ友たちからもうらやましがられるんですよ。ニーズの大きさを実感しますし、働き方改革の中で、テレワーク制度がもっと普及していけばいいですね。



テレワークを実際に
活用している福田茜さん